

観察の目 「山田池公園の冬の樹木と冬鳥の観察会」

実施日： 2019年2月8日

記 録： 2班 上池 喜代美



山田池公園南入口のユリノキ並木



ユリノキ（モクレン科）
（冬は枝に残る翼果が目立つ。）



アオサギ



セグロセキレイ



ケリ



山田池に浮かぶオシドリ



オシドリ（上雄・下雌）



モミジバフウ（フウ科）
（別名アメリカカフウ）



樹皮は淡紅褐色。浅く縦に裂ける。



若枝にはコルク質の綾が残る。



ヤマザクラ（バラ科）
樹皮に暗灰褐色・皮目は横に長い筋がある。



オオシマザクラ（バラ科）
樹皮に灰褐色・皮目は大きい。



ハナミズキ樹形

ハナミズキ（ミズキ科・別名アメリカヤマボウシ）



ハナミズキ冬芽



トサミズキ冬芽

花芽は大きく短毛が密生

葉芽は水滴形・花芽は丸い・芽鱗2枚

トサミズキ（マンサク科）



カリン（バラ科・樹形）



根元に落ちたカリンの果実



冬芽



展葉を始めた冬芽。



ビワ (バラ科)

果実



花期が長く、蕾・花・若い果実まで同時に見える。



シナマンサク (マンサク科)



シナマンサクの花

←葉を残して花が咲く



ベニバナマンサクの花



イスノキ (マンサク科)

←葉や枝にアブラムシなどが寄生し
大小の虫瘤が付く。



蒴果・殻



ヤブコウジ (サクラソウ科・別名十両)





クロガネモチ（モチノキ科）



↑新しい枝は紫褐色で
冬芽を付ける

←樹皮は灰白色・平滑。



紫色の果柄に赤い果実が多数付く



イイギリ（ヤナギ科）



頂芽は半球形で芽鱗は7～10枚

↑冬芽と枝根・頂芽が大きく側芽が小さい

←樹皮は白っぽく滑らか・樹形は上にまっすぐ伸びる。



←イヌビワの果実

イヌビワ（クワ科）



←イヌビワの冬芽は
三角形で尖る



冬芽は長楕円形。

ツクバネガシ（ブナ科コナラ属）



冬芽とどんぐり（翌年の秋熟成）が共存



コブシ (モクレン科)



タムシバ (モクレン科)



モクレン (モクレン科)



花芽は長軟毛に覆われ芽鱗は見えない。

葉芽は短軟毛に覆われる。

コブシ



モクレン

花芽は伏した毛に覆われ中央からほそくなる。



葉腋に棘

花のあと。萼に4個の稜がある。

ナワシログミ (グミ科)



ヒサカキ (サカキ科・別名インクノキ)



樹皮の小皺・果実の汁で落書き



白梅 (バラ科)



紅梅は幹も赤褐色↑

芽鱗は8枚程度→

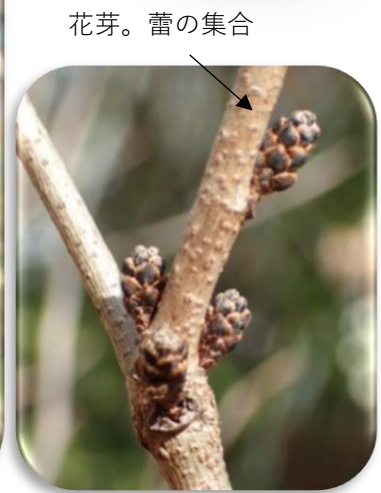




ハナズオウ (マメ科)



樹皮は灰白色で小さな丸い皮目が多い。



花芽。蕾の集合



ヒマラヤザクラ (バラ科)

←NOx吸収能力の高い環境浄化木



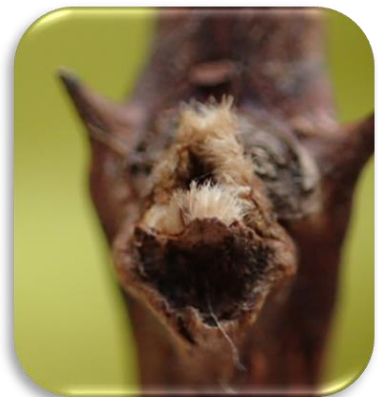
花びらは5枚

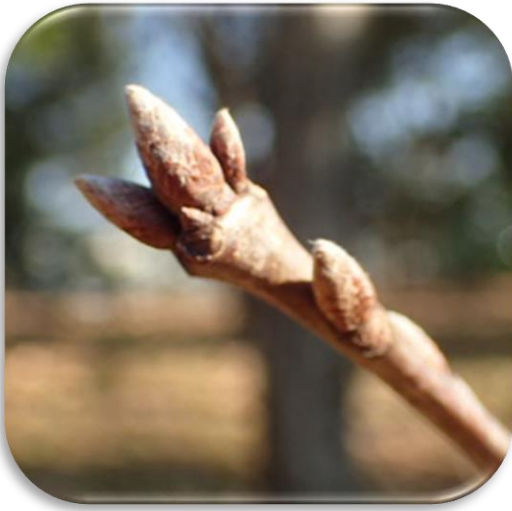


ハリエンジュ (マメ科)

←葉痕の左右に托葉の変化した棘

冬芽は葉痕に隠れて
見えない→
葉痕はまるみのある
三角形で大きい→





アメリカガシワ（ブナ科・別名ピンオーク）



葉は5～7裂・U字形切れ込む



トチノキ（ムクロジ科）

冬芽の頂芽は大きく、長さ1～4cm。側芽はほとんど発達しない。

維管束痕は5～9個

十枚ほどの芽鱗に包まれて、その上にべとべとした樹脂がついて乾燥、寒さ、虫害を防ぐ。



ギンドロ（ヤナギ科）

（別名ウラジロハコヤナギ）

葉裏に白い綿毛が密生。



ハナノキ（ムクロジ科）



冬芽

5-7対の鱗片が瓦重ね状に並び、濃紅色。